

さの社協だより

Vol.77 | 2024.5.1

編集発行/社会福祉法人 佐野市社会福祉協議会
佐野市大橋町3212-27 ☎(22)8100 FAX(22)8199



<ホームページ><https://www.sanoshakyo.or.jp/> <Eメール>soumuhukushi@sanoshakyo.or.jp さの社協だより 🔍検索

令和6年能登半島地震で被災された方々を支援するため、
災害義援金の街頭募金を行いました。



フェドラP&D佐野



佐野市観光物産会館



道の駅どまんなかたぬま



第42回「福は市」会場

皆様からの義援金は、中央共同募金会を通じて、
石川・富山・新潟・福井・各県の被災者へお渡しいたします。

あなたの熱意を地域福祉へ!!!

佐野市社協 職員募集

詳しくは12ページをご覧ください。

社会福祉協議会とは

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を進めるために、地域の皆さんやボランティア、保健、福祉、医療、教育等の関係機関などが協力しながら共に考え、実行していく、民間の団体です。社会福祉協議会は通称「社協（しゃきょう）」と呼ばれています。

令和6年度
佐野市社会福祉協議会

事業計画・予算

●事業計画●

【予算：15,446千円】

① 健やかで元気に暮らせる まちづくり

- ① 福祉意識の醸成に向けた情報発信
- ② 地域福祉を推進する人材の養成 ⇒ 重点目標
- ③ 地域福祉活動団体等への活動支援
- ④ 多様性を認め合う地域づくりの推進



手話講習会
の様子

【予算：402,714千円】

② 快適により安全で 安心して暮らせるまちづくり

- ① 心と体の健康づくりや地域医療体制の充実
- ② 子ども・子育て支援の充実
- ③ 高齢者の福祉の充実 ⇒ 重点目標
- ④ 障がい児者の福祉の推進
- ⑤ 移動サービス（公共交通等）の推進



新春将棋大会
の様子

【予算：89,739千円】

③ 市民参加による 自立したまちづくり

- ① 地域住民等が集う拠点の整備
- ② 地域住民の主体的な活動参加への支援 ⇒ 重点目標
- ③ 分野横断や多機関の協働による
包括的な相談支援体制の構築
- ④ 官民協働や補助事業活用の促進



地区社会福祉協議会
連絡会議の様子

【予算：402,101千円】

④ 地域福祉推進の体制づくり

- ① 権利擁護の推進
- ② 防犯意識の高揚と防犯体制の整備
- ③ 交通安全の啓発と交通安全施設の整備
- ④ 地域で安心して暮らせる防災力の向上
- ⑤ 生活困窮者等への自立支援の推進
- ⑥ 市と社会福祉協議会との連携強化 ⇒ 重点目標



共同募金会佐野市支会の運営
(2023佐野市ふくしフェスタにて)

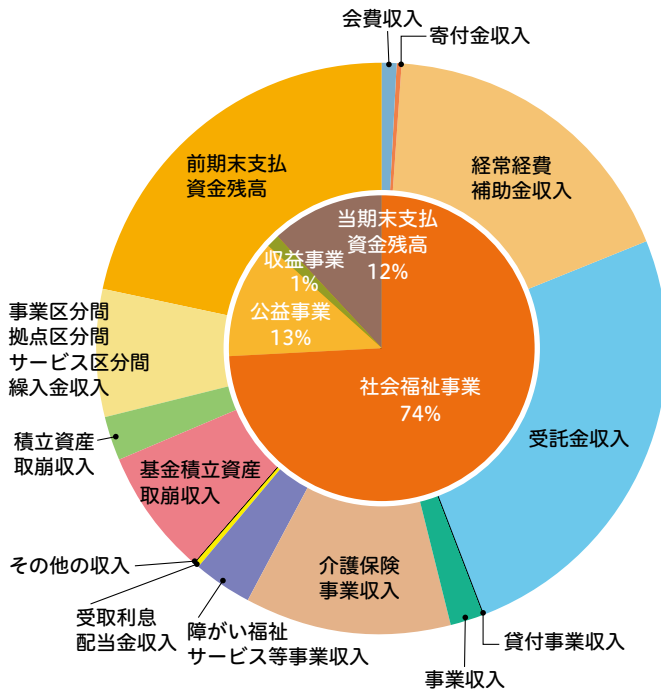
●資金収支予算●

収入 1,033,000千円

収入

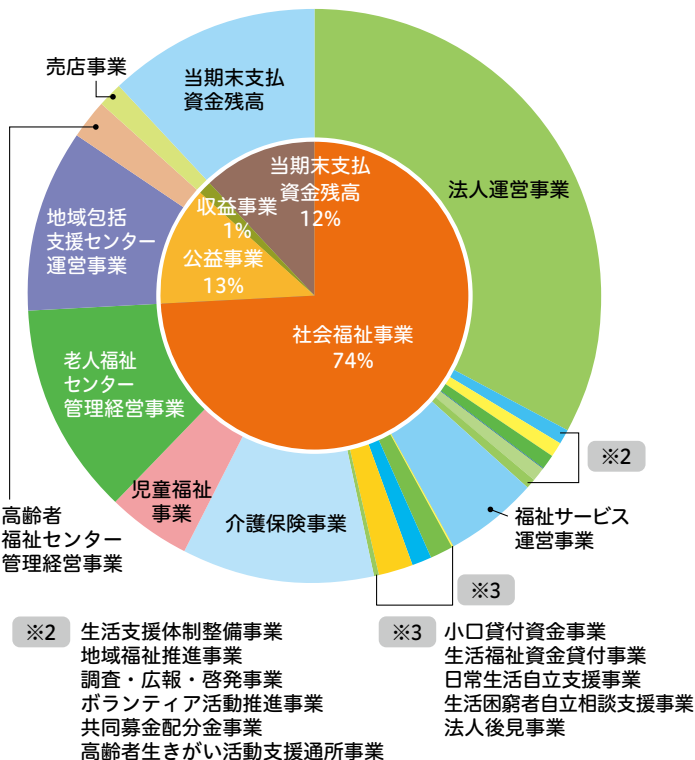
(単位：千円)

勘定科目		本年度予算額
事業活動収入	会費収入	10,845
	寄付金収入	2,060
	経常経費補助金収入	183,895
	受託金収入	261,236
	貸付事業収入	646
	事業収入	17,901
	介護保険事業収入	121,754
	障害福祉サービス等事業収入	35,592
	受取利息配当金収入	713
	その他の収入	279
その他の活動収入	基金積立資産取崩収入	75,000
	積立資産取崩収入	26,000
	事業区分間繰入金収入	13,632
	拠点区分間繰入金収入	28,882
	サービス区分間繰入金収入	31,553
前期末支払資金残高	223,012	
収入合計		1,033,000



支出 1,033,000千円

(単位：千円)



支出

事業区分	サービス区分	本年度予算額
社会福祉事業	法人運営事業	340,830
	生活支援体制整備事業	8,429
	地域福祉推進事業	9,224
	調査・広報・啓発事業	6,252
	ボランティア活動推進事業	2,226
	共同募金配分金事業	7,172
	高齢者生きがい活動支援通所事業	4,881
	福祉サービス運営事業	54,606
	小口貸付資金事業	660
	生活福祉資金貸付事業	15,956
	日常生活自立支援事業	10,421
	生活困窮者自立相談支援事業	20,832
	法人後見事業	1,000
	介護保険事業	113,040
児童福祉事業	47,290	
老人福祉センター管理経営事業	123,453	
公益事業	地域包括支援センター運営事業	107,846
事業収入	高齢者福祉センター管理経営事業	23,069
事業収入	売店事業	12,813
当期末支払資金残高		123,000
支出合計		1,033,000

第4次佐野市地域福祉活動計画を策定しました。

「みんなが集い、ふれあい、支えあうまちづくり」

基本理念

集う

みんなが
行事や活動に
参加する

ふれあい

お互いが
心をかよわせ、
理解する

支えあう

お互いを
思いやり、
助け合う

基本目標

- 『健やかで元気に暮らせるまちづくり』
- 『快適により安全で安心して暮らせるまちづくり』
- 『市民参加による自立したまちづくり』
- 『地域福祉推進の体制づくり』

基本目標とは・・・

基本理念の実現に向けて、4つの基本目標を地域福祉計画と地域福祉活動計画の共通のものとし、それぞれの役割に沿った施策を総合的に展開します。

本計画は、地域福祉の一層の充実を図ることを目的に、佐野市と協働し、市で定める第4期佐野市地域福祉計画と一体的に策定しました。内容は、ホームページにてご覧になれます。(URL:<https://www.sanoshakyo.or.jp/>)

計画期間：2024年度～2028年度



佐野市社会福祉法人連絡会を設立しました。



佐野市社会福祉法人連絡会設立総会を3月15日（金）に総合福祉センターで開催しました。連絡会には、佐野市内で活動する社会福祉法人19法人が参加しています。

今後の取り組みは、情報交換や研修会等を通じて佐野市の福祉の充実、向上、発展に貢献できるよう連携協力を深めていきます。また、総会後は、東京福祉大学・大学院社会福祉学部准教授、北爪克洋氏を講師に迎え「ネットワーク」と題して社会福祉法人連携について、具体的事例を交えてご講話いただきました。

佐野市社会福祉法人連絡会 参加法人名簿（50音順）

愛光園
縁盛会
桜和会
恵明会

佐野福祉会
三松会
森友会
瑞宝会

誠泉会
つめくさ会
常盤福祉会
徳知会

とちのみ会
ひまわり会
ブローニユの森
報徳会

マロニエ
裕母和会
佐野市社会福祉協議会

ご寄付ありがとうございました

皆様から頂いたご寄付は地域福祉の推進のため、様々な事業で活用させていただきます。

寄付金 (敬称略)

- 佐野高校サッカー部OB会 14,176円
- 中井龍尊 56,789円
- 佐野日本大学高等学校・佐野日本大学中等教育学校生徒会 14,411円
- 篠崎建設(株)築幸会 58,592円
- ペルク佐野田沼店 お客様一同 37,345円
- 種徳院梅花講 30,000円

寄付物品 (敬称略)

- 吉田正 玄米 30kg6袋
- BBステーション佐野田沼インター店 お菓子 段ボール4箱
- ピーエスブランド佐野店 お菓子 段ボール2箱
- ダイナム佐野高萩店 日用品・食品等 段ボール10箱
- こくみん共済coop佐野・足利地区共済会 タオル 140本
- 本光寺 食品 段ボール13箱
- 佐野中央ライオンズクラブ ポータブル電源 1台・ボールペン 100本
- 佐野ロータリークラブ 中古自転車 9台
- 匿名 紙オムツ・パッド 5袋

※1月1日から3月31日までに寄付された方々です。なお、掲載を希望されない方については、掲載しておりません。

令和6年度

福祉標語を募集します

福祉に関する題材で標語を募集します。普段の生活の中で感じた福祉の心を標語によんでみませんか。

● 受付締切 10月11日(金) (必着)
● 対象者 市内に在住の市民、市内に通勤、通学する社会人及び高校生以上の方

● 応募方法 応募作品は1人1編まで
窓口に設置する応募用紙に必要事項を記入し、応募するほか、次の方法により応募できます。

【応募用紙が無い場合】

白紙に楷書で左記の必要事項を明記する。直接窓口へ申し込むか、郵送またはFAXにて送信してください。

佐野市社会福祉協議会 田沼支所

〒327-0323 佐野市戸奈良町1番地1
田沼中央公民館内 FAX(62)5695

【Eメールによる応募】

左記の必要事項を入力の上、次のアドレスへ送信ください。

✉ hyugosano@sanoshakyo.or.jp

必要事項

- 福祉標語 (1編)
- 氏名 (ふりがな)
- 生年月日
- 電話番号
- 住所 (市外の方は通勤・通学先を併記してください。)

● 窓口 佐野市総合福祉センター、田沼支所、葛生支所、茂呂山・田之入老人福祉センター

● 表彰 最優秀賞1名、優秀賞5名 (賞状及び賞品を贈呈します。)

● 詳しくは、本会ホームページをご確認ください。なお、最優秀賞作品は本会事業に使用いたします。

問合せ 田沼支所 ☎(61)1139

令和5年度 最優秀賞作品

差し伸べたその手に伝わるありがとう

受賞

おめでとうございます

1月24日(水)葛生あくとプラザ大ホールにて第19回佐野市社会福祉大会を開催しました。第1部式典は、佐野市長表彰のほか、本会では、市内小中学校、義務教育学校より福祉作文最優秀賞受賞者4名、市内在住あるいは、通勤・通学している高校生以上の方より、福祉標語最優秀賞受賞者1名、本会事業推進功労者として2団体他1名、高額寄付者として7団体2名他の方を表彰しました。受賞された皆様、誠におめでとうございます。

第2部は、NPO法人 福聚会 石綱秀行氏による「我がごままるごと助け合いの地域を目指して！」と題して講演いただきました。身近な活動に、来場者も熱心に耳を傾けていました。



令和5年度 児童・生徒



福祉作文最優秀作品

市内小中学校の児童生徒の皆さんに、日常生活や学校生活の中で、福祉についての関心を高め、理解を深めることを目的として福祉作文を募集しました。968作品にのぼる応募があり、各区分ごとに最優秀作品が選ばれました。(敬称略)

小学校1・2年生の部

みんなをつなぐボランティア



城北小学校 二年

林 はやし

舞桜 まお

「今日の帰りは、じいちゃんね。」
わたしのおばあちゃんが、月に一回言うセリフです。となりにすんでいるわたしのおばあちゃんは、毎日とう下校を見まもってくれています。

おばあちゃんは、みんないいんをやっている、月に一回会いに行きます。その時間がわたしの下校の時間とかさなるので、その日はおじいちゃんが来てくれます。
おじいちゃんは、町内の子どもたちの下校

を見まもるボランティアです。下校は学年によって時間がちがうので、町内のボランティアさんが交代いで見まもりをしてくれていきます。おじいちゃんは、こまっている子や元気がない子がいると、

「どうしたの？大じょうぶ？」

と声をかけています。見まもってくれている人たちのおかげで、わたしたちはあん心して歩いて帰ることが出来ます。

会ぎから帰ってきたおばあちゃんに

「みんないいんって、なにをしているの？」

と聞いてみました。すると、

「地いきの人のそうだんあい手になって、地いきのふくしとつなぐボランティアをしているんだよ。」

と教えてくれました。一人ぐらしの高れいしやが、元気にすごせているかようすを見に行つて、こまっていることがあればお話を聞くそうです。せんもんの人にれんらくをして、来てもらうこともあると知りました。

あついい日もさむい日も、おじいちゃんやおばあちゃんはボランティアをしています。たいへんじやないか聞いてみたら、
「ボランティアをしていると、ありがとうございます」と言われて元気をもらおうよ。」

わたしは、ボランティアをしてみたいという気持ちになりました。だからのお手つだいして「ありがとう」と言われたらうれしいです。元気をもらってえ顔になります。ボランティアは、元気をあたえたり元気をもらっ



たりして、みんながしあわせになるんだなと思えました。

「自分ではすぐにたすけられなくても、だれかにつたえたりすることでたすけることもできるんだよ。」

とおばあちゃんが大切なことを教えてくれました。わたしは、こまっている人がいたら、声をかけられる人になりたいです。小さなことから、ボランティアのだい一步をはじめてみたいと思います。

これからも、子どもや高れいしや、みんなが地いきのふくしとつながって、あん心でしあわせに生活できるといいなと思います。わたしは、おじいちゃんおばあちゃん、ボランティアのみなさんに、心から「いつもありがとう」とつたえたいです。そして、みんなにボランティアのわが広がると思います。

小学校3・4年生の部

身近な福祉



旗川小学校 四年

山根 やまね

波瑠貴 はるき

ぼくは、しょう害者福祉について考えてみました。調べてみると、しょう害者福祉とは、「しょう害のある方が自らの望む生活を営むことができるように支える」と書いてありました。言葉にすると、難しく感じました。し

かし、ぼくの身近にも福祉サービスがあることに気がつきました。

ぼくは、一年生のときから週に二回、放課後デイサービスに通っています。学校が終わった後に、デイサービスの人が迎えに来ます。宿題のわからないところを教えてくれたり、手を使う作業をするときに手伝ってくれたりします。ぼくはみんなと同じことを一緒に進めていくことが難しいので、放課後デイサービスでさまざまなことを学んでいます。初めは自分で自分だけ通っているのだろうと思っていました。しかし今では、できることが少しずつ多くなって、友達も増えてよかったです。思っています。デイサービスの先生たちは、意味を理解できるまで何度も説明してくれま

す。ふり返ってみると、ぼくは、いろいろな人に手助けしてもらいながら生活していることに気づきました。自分が経験していることが福祉サービスなんだと思いました。

ぼくのお母さんは、福祉に関わる仕事をしています。福祉についていろいろ知っています。ぼくが通っているデイサービスのことも安心して通わせられるから、ありがたいと話しています。ぼくは、デイサービスに通うことがはずかしいことだと思っていました。でもお母さんは、デイサービスのような福祉サービスが使えることは、まわりの人にも知ってもらっていた方がいいのよと話していました。考え方は、人それぞれなんだと思います。

ぼくもいろんな人たちに支えてもらい



ながら日々の生活を送っています。そのことがどんなに恵まれていることなのか、今まではよく分かってはいませんでした。それは、ぼくだけがなんでみんなが行かないデイサービスに通わなくてはいけないのだろうと思っていましたし、ぼくもみんなと同じ学童に通いたかったからです。

しかし、今はちがいます。ぼくがデイサービスに行き始めてから、思っていました。おじいちゃんとおばあちゃんが「手先が上手に使えるようになってきたね。」と、ほめてくれるようになったからです。ぼくもそう言われるようになったからです。

そこで、そういううれしさを広めたい。また、身近な福祉を知ってほしいと思いました。福祉はたくさんの人たちの支えで成り立つものです。そして、それは身近なところにある、とつてもうれいものです。だからぼくは、身近な福祉について知ってもらったり、自分でも、学んだりしていきたいです。

小学校5・6年生の部

私の妹



犬伏東小学校 六年

栗城 真陽

私の妹は、自閉症で、重度の障がいをもって生まれてきました。成長がゆっくりで、会

話をしたり、思うように歩いたり、走ったりすることができません。なので、保育園や幼稚園には通うことはできません。そのかわり、障がいのある人がりよう育を受けることのできる場所へ毎日通っています。

りよう育とは、障がいをもつ子供が社会的に自立することを目的として行われる医りょうと保育のことです。妹は、一才半のころからりよう育を受けています。そのおかげで、妹はとてもゆっくりですが、日々成長し続けています。

例えば、私の名前を覚えて呼んでくれたのは四才、五才にはくつをはいて少し歩けるようになったり、スプーンを使って自分でご飯を食べることができるようになったりしました。それを見て、私は毎回「障がいがあっても、少しずつ少しずつ成長していて、とてもすごいな。」と思います。妹のこの成長はりよう育という福祉のおかげだと思えます。

しかし、福祉とは何かを詳しく知らない人が世の中にはいっぱいいると思います。そこで、身の回りの福祉について少し調べてみました。

例えば、「バリアフリー」があります。これはもともとは建築用語として、道路や建築物の入口の段差などの物理的な障壁の除去という意味で使われてきたのですが、現在では、障がいがある人や、高齢者だけでなく、あらゆる人の社会参加を困難にしているすべての分野での障壁の除去という意味で用いられています。

また、実際に障がいのある人が社会の中で直面しているバリア（障壁）には次の四つがあるそうです。一つ目は、物理的なバリアです。これは、

令和5年度 赤い羽根共同募金運動実績について



皆様からのご支援ご協力によりお寄せいただきました、令和5年度募金の最終総額は、**10,616,066円** になりました。

ご協力
ありがとう
ございました。

≡ 運動期間 ≡ **10月1日～12月31日**

募金は佐野市や栃木県内の子どもたち、高齢者、障がい者などを支援する福祉活動や、災害時の被災者支援活動のほか、佐野市内で福祉活動をしている団体への活動費、イベントへの助成、社会福祉施設や地域住民による福祉活動支援など「じばんの町を良くするしくみ」に活用されます。



令和5年度 佐野市社会福祉協議会会員募集について

皆様に参加いただきました、令和5年度
会員会費の最終総額は、**10,390,300円** になりました。

市内で住民の皆様が取り組まれている地域福祉活動への支援や各種福祉サービスを、さらに充実させるために活用します。



ご協力ありがとう
ございました。

生活支援
コーディネーターが

地域づくりの お手伝いをします！

佐野市社会福祉協議会では高齢者が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けられるよう、生活支援コーディネーターを配置しています。

生活支援コーディネーターはこんな活動をしています！

- ・地域の情報（福祉サービスや支え合い活動等）を集めます
- ・地域の情報（福祉サービスや支え合い活動等）を伝えます
- ・地域活動（居場所づくりや生活支援活動等）を支援します
- ・担い手（ボランティア等）の育成をします
- ・地域に必要な資源（課題解決のためのサービス等）を創出します



講座の
開催

地域の方が集まる
場におじゃまして、
情報の収集や提供



情報紙の
発行

「こんな助け合いをやっているよ」、「こんなお手伝いができるよ」

などの情報をぜひ生活支援コーディネーターにお寄せください！



【お問合せ先】
地域福祉推進係
生活支援コーディネーター 齋藤
☎(86) 8844

福祉活動推進員も活動しています！！

地域における福祉活動の活性化を図るため、福祉活動推進員を配置しています。住民に近い関係で、住民の方の暮らしや地域の支えあいの状況を聞き取りするなど情報収集し、生活支援コーディネーターとも連携をしながら、地域の福祉活動に必要なことを探していきます。



福祉活動推進員 片柳

【お問合せ先】 地域福祉推進係 ☎(22) 8136

高齢者福祉センター

巡回バスについて

5月・6月・7月の巡回バス運行予定はつぎのとおりです



施設名	5月			6月			7月		
	南巡回コース (水曜日)	東巡回コース (木曜日)	西巡回コース (土曜日)	南巡回コース (水曜日)	東巡回コース (木曜日)	西巡回コース (土曜日)	南巡回コース (水曜日)	東巡回コース (木曜日)	西巡回コース (土曜日)
田之入老人福祉センター ☎ (22)3991	運行見合わせ 大広間整い次第再開			運行見合わせ 大広間整い次第再開			運行見合わせ 大広間整い次第再開		
茂呂山老人福祉センター ☎ (24)5500	1日・8日 15日 22日・29日	2日・9日 16日 23日・30日	11日 18日・25日	5日・12日 19日・26日	6日・13日 20日・27日	1日・8日 15日 22日・29日	3日・10日 17日 24日・31日	4日・11日 18日・25日	6日・13日 20日・27日

《各コース停留所および時刻表はホームページ、または各施設で配布するチラシをご覧ください。》

お知らせ

田之入老人福祉センター発着バスは、館内大広間空調設備が整い次第、運行を予定しております。その間、全便が茂呂山老人福祉センター発着となります。あらかじめご了承ください。皆様のご利用を職員一同、心よりお待ちしております！

生活支援員を募集しています!!

高齢者の方・障がいのある方が安心して生活ができるよう、日常的な金銭管理等のお手伝いをする「あすてらす（日常生活自立支援事業）」を行っています。

現在、日常生活のお手伝いをする生活支援員を募集しています。

あすてらすや生活支援員については、担当より丁寧に説明させていただきます。

まずは、お気軽にお問合せください。



活動内容：金融機関での払戻、利用者宅または関連施設への訪問、関係機関への支払い等

活動時間：月曜日～金曜日、1回1時間程度
※銀行や利用者の所には、自家用車で行っていただきます。

活動報酬：1回1,000円

*月1～2回の活動をお願いしていますが、月1回の活動でも大丈夫です。
*現在21名の方が活躍中（男性2名・女性19名）です。




問合せ先 ☎ (21) 5330

生活支援係 担当：五味田・今井



頭も! 体も! 元気あっふ教室
 — 超高齢社会も怖くない —
 介護に関するミニ知識と簡単にできる体操などの講座を開催します。お気軽にご参加ください。

期日	1. ミニ知識や介護予防体操	2. 茶話会及び高齢者相談会
5月14日 (火)	～何歳になっても歩ける体づくり～ 佐野市ハツラツ元気体操	質問 相談 気軽に ※1回の受講でも参加できます。 
6月25日 (火)	認知症サポーター養成講座 (右側の記載内容)	
7月9日 (火)	～柔道整復師による～ 介護予防体操	
8月13日 (火)	好評につき ～楽しく踊りましょう～	

※内容の一部変更や中止となる場合があります。

- 2. 会場 佐野市総合福祉センター 2階会議室
- 3. 時間 午後1時30分～2時30分
- 4. 定員 各回 30人(申込順)
- 5. 申込期限 開催日の3日前 (土日祝日除く)まで
- 6. 申込・問合せ 地域包括支援センターさの社協 ☎(22)8129

～認知症について学び、地域で支え合いましょう～

認知症サポーター養成講座 受講者募集

- 期日 6月25日(火)
- 時間 午後1時30分～3時
- 会場 佐野市総合福祉センター 2階会議室
- 内容 認知症とは 認知症の方への対応
- 定員 30人
- 受講料 無料
- 申込期限 6月21日(金)まで
- 申込・問合せ 地域包括支援センターさの社協 ☎(22)8129



受講された方にはサポーターの証「認知症サポーターカード」をお渡しします。

「認知症サポーター」は、何か特別なことをする人たちではありません。認知症を正しく理解し対応方法を学ぶことで、認知症になっても安心して地域で暮らせるよう、そっと見守り、応援する人です。



心配ごと相談

常設相談 月～金 午前8時30分～午後5時
下記の窓口で常時実施しています。



佐野本所 (生活支援係)	佐野市大橋町3212-27	佐野市総合福祉センター内	☎(22)8126
田沼支所	佐野市戸奈良町1-1	田沼中央公民館内	☎(61)1139
葛生支所	佐野市あくど町3084	葛生あくど保健センター内	☎(86)2940



弁護士による無料相談 (予約制)



- 開催日 5月7日(火) >>> 6月4日(火) >>> 7月2日(火) >>> 8月6日(火)
- 令和6年 9月3日(火) >>> 10月1日(火) >>> 11月5日(火) >>> 12月3日(火)
- 令和7年 1月7日(火) >>> 2月4日(火) >>> 3月4日(火)

- 時間 午後1時30分～3時30分 (1回相談につき15分程度)
- 会場 田沼中央公民館 保健センター相談室 他
- 予約 田沼支所 ☎(61)1139 ※事前にご予約ください。



社会福祉法人 佐野市社会福祉協議会

令和6年9月採用 職員採用試験のお知らせ

地域福祉の推進に
熱意と意欲
のある方を
募集します。

試験区分	採用予定人員	業務内容	受験資格
一般	若干名	地域福祉に関する事務事業に従事します。	平成元年4月2日以降に生まれた方で、普通自動車免許を有する方
社会福祉士	若干名		昭和54年4月2日以降に生まれた方で、社会福祉士の資格及び普通自動車免許を有する方
保健師	若干名		昭和54年4月2日以降に生まれた方で、保健師の資格及び普通自動車免許を有する方
主任介護支援専門員	若干名		昭和54年4月2日以降に生まれた方で、主任介護支援専門員の資格及び普通自動車免許を有する方

◆試験日・会場

【第1次試験】6月22日(土)

- 一般区分……………〈適性検査・教養試験〉
 - 社会福祉士・保健師・主任介護支援専門員区分……………〈適性検査〉
- 佐野市総合福祉センター(大橋町)で行います。
詳しくは、職員採用試験案内をご覧ください。

【第2次試験】……………〈小論文・口述試験〉
詳しくは、対象者に文書で通知します。

◆試験案内・受験申込書配布場所

本会ホームページ (<https://www.sanoshakyo.or.jp/>) からダウンロードしてください。
佐野市総合福祉センター(大橋町)、田沼支所(田沼中央公民館内)、葛生支所(葛生あくど保健センター内)でも配布いたします。

◆申込方法

受験申込書に84円切手(受験票送付用)を同封の上、佐野市総合福祉センター窓口へ持参または郵送で「社協職員受験申込」と朱記し、簡易書留等確実な方法でお送りください。

◆申込先

〒327-0003 佐野市大橋町3212番地27
佐野市総合福祉センター内
社会福祉法人 佐野市社会福祉協議会
総務福祉課法人経営係 ☎(22) 8100



◆受付期間

5月1日(水)～5月31日(金)(当日消印有効)
(土日・祝日は窓口での受付は行いません。)

◆採用の時期

令和6年9月1日採用予定 [※詳しくは、職員採用試験案内をご覧ください。]

◆詳しくは、お電話または窓口までお問い合わせください。
地域福祉推進係 ☎(22) 8136



募集期限

5月31日(金)

※飲食の提供については、通常の活動で、飲み物や食品の提供または販売を行っている団体のみ可能、調理食事については、営業許可を取っている団体のみ可能。

●市内で、「SDGs」や「地域貢献」に関する活動を行っている企業等。

●市内で活動している、福祉団体やボランティア団体等。

募集対象

※詳しい内容は今後、参加者・団体で構成する会議で決定していきます。

「ふくしに関する活動や地域貢献活動」を行っている団体等が、展示や体験コーナーなどを通して、地域の人たちに紹介する。

内容

旧佐野市立葛生小学校

会場

10月27日(日) 午前10時～

日時

自分たちが取り組んでいる「ふくしに関する活動」について、地域の人たちに知ってもらいませんか？

2024

佐野市ふくしフェスタ

参加団体募集

